内

蔵

ポ

プ

源

設

計

流

転

空冷式熱源機 (空冷冷却専用)

インバータポンプ内蔵機・高COPタイプ

		ボンブ内蔵様		タイ			1
冷 <u></u>	却		(注1)		(kW)	75. 0	ļ ,
最 大			(注1)		(kW)	99. 2	ļ ,
C			(注1)			3. 63	4
I	P T.s.		(注1)	-		6.8	7
外	塗 外	装	<u> </u>	色	()	シルキーシェード(マンセル1Y8.5/0.5)	- :
	形		(注2)		(mm)	2350	-
観	寸	幅			(mm)	1000	生山
朱山	法		丁(注2)		(mm)	3300	製
製	品	質量			(kg)	1324	運
運 電	転電	質 量		<u>ਪ</u> ਸ ((kg) (注1,4)	1360	-
気	運	 車云	電			3相 200V 50/60Hz	1
特	消	費	电 ———— 電	流	(A)	60. 2 20. 7	1
性 (注1,3)	力		电	力 —— 率	(kW)	99	}
(注1,3)	形			举 式	(%)		·
圧	電	 動 機	出		(LW)	全密閉ロータリ式 4.5 x 4	┨ .
縮	始			力 	(kW)		- 1
機	ケ			式	(W)	インバータ始動	-
	7	ー ス ¹	<u> </u>	タ 類	(W)	37 x 4 RB74AF	- 1
冷凍	機油		 真	量	(L)	2.3 x 4	-
 空	 気	<u> </u> 元	^异 ———— 換	器	(L)	プレートフィンコイル	/: -1
	送		一	機		プロペラファン	(注1
送 風	風				³ /min)	1230 (最大値)	┨
装	始		 方	式	/ III 1 11)	インバータ始動	┨
置	電	勤 動	//	機	(kW)	1.2 x 4	1
	散				_/min)	13.6 x 1	1
散 水	給		(注6)	(L	(MPa)		┨
装	水	温 範 囲			(°C)	10 ~ 30	┨
置					(°C)	20 ~ 40	┨
(注5, 12)	制	御方式			(0)	20 40 40 設定圧縮機容量以上かつ設定外気温度以上にて連続散水	1
冷	水	<u></u> 熱交	 換	器		プレート式 (SUS316相当)	1
水	標		(注1)		(L/min)	236	1
(注7, 12)	-	<u> </u>	(注8)		(L/min)	150 ~ 600	1
		保有水量			(L)	621	1
<i>></i> (< 1 3 3		種		類	(L)	R32	1
冷	媒	-	 ኢ	量	(kg)	8.8 x 4	1
.,.	,,,,	制御	<u>·</u> 方		(1187	電子膨張弁	1
 容	量	制御			(%)	0, 6–100	1
					1,07	マイコンコントローラによる	1
運	転	調整	装	置		トーラーラー フェーラー 冷水温度制御および流量制御	
 使 用	範 囲	冷 水 出		度	(°C)	-15 ~ 30	1
(注1		外気	温	度	(°C)		1
——— 保	高圧	」 スイッチ、過		イ:		L タ過負荷保護(圧縮機,ファン,ポンプ)、	1
護		スヒータ、欠					
装	マイ	コンコントロ	一ラ(圧約	宿機:	タイム:	ガード、凍結防止、低水量、	
置		温度、低圧保					
配	冷	水	入		(A)		1
管	冷	水	出	П	(A)	65フランジ (JIS10K)	1
	П	イルド	レン		(A)	PT40オネジ	1
径	ポ	ンプド	レン	П	(A)	PT25オネジ	1
		(34-10)	コントロー ボックス側			62. 2	1
騒 (測)	音 定位置:	値 ^(注13) : 距離1.0m、	空気熱交換		(dBA)	63.5	1
	高さ1		——— 水配管侧			64.7	1
 法	 定		 		(トン)	17. 98	1
		保 安 法	手 続 区		-	不要	1
備						モジュールコントローラ(MC)(注14)	1
考	必	須 別	売 部	品		(外付けセンサ×2 付属)	
-	(22.4)	W. L				ト下記冬件時の値です	J

(注1) 能力・電気特性および標準流量は、下記条件時の値です。

冷却: 冷水入口 0°C/出口 -5°C、 外気 35°CDB,24°CWB、給水温度21°C 電圧200V ブライン濃度 エチレングリコール 28wt%

標準流量は出入口温度差=5~10℃の範囲内としてください。

現場の施工状況により力率が変化する場合があります。

(注2) 外形寸法には、水配管接続部などの突出分は含まれていません。

(注15)

(kW)

(kW)

(kg)

(kg)

(A)

(kVA)

 (mm^2)

(A)

(A)

(A)

カ

式

式

式

流

力

こう長20m以下 (mm²)

こう長50m以下(mm²

こう長20m以下(mm²

こう長50m以下 (mm²)

さ

ズ

量

太

出

方

方

御

転

費

量

量

電源配線接続箇所

IV線

ス

ス

匕

(注14,15) 漏 電 遮 断 器 感 度 電 流

線

断 器 容

動

量

大

大

質

質

基準電流

電源配線

元

源

電遮

源容量

制

消

標準

2. 2

8.5

2.8

1324

1360

146

50.5

150

150

- (注3) 電気特性には内蔵ポンプ分を含んでいません。
- (注4) 電源電圧は変動があった場合でも、±10%を超えないようにし、電源電圧間の不平衡は2%以内としてください。

出力変更時

5.5

6.4

1360

1396

157

54.4

3. 7

渦巻きポンプ

インバータ始動

インバータ

13.7

4. 5

1340

1376

各モジュール内電源接続端子台(M10)

151

52.3

100

100

60

60

200

200

200

- (注5) 給水の水質により、コイル表面にスケールが付着する場合があります。 必要に応じ、給水側に軟水器を取付けるなどの対策を行なってくださ い。(現地手配)
- (注6) 散水装置入口にある流量調整用手動バルブにより、この給水圧になる ように流量調整してください。十分な給水圧が得られない場合は、 加圧ポンプを取付けてください。(現地手配)
- (注7) 水回路常用圧力:0.7MPa以下
- (注8) 流量は内蔵ポンプにより流量範囲内で自動的に変動します。流量範囲は、モジュール1台分の最低流量から最大流量です。
- (注9) 保有水量の計算は、バイパス経路等も考慮した配管流路で最も水量が 少なくなる部分で計算してください。表中の保有水量は、水出入口設計 温度差5℃の場合の値です。

表記の保有水量は、運転中に急激に無負荷となった場合でも安全に 停止させるために必要な水量です。

- (注10) 運転条件により、容量制御範囲は異なります。
- (注11) 始動後 1 時間は通常の使用範囲より高い冷水出口温度 (冷却時、上限35℃) それ以降は使用範囲内となるよう、必要に応じて冷水回路の バイパス等により対応してください。
- (注12) ブラインは凍結点が設定水温の-8℃となるような濃度で使用してください。
- (注13) 騒音値は反射音の少ない場所で測定したものです。実際の据付状態では 周囲の騒音や反射の影響を受け、表示値より大きくなります。
- (注14) モジュールコントローラ (MC) は弊社工場にて組み込みます。 形名にMCが付くものにモジュールコントローラが内蔵されます。 また外付けセンサのリード線長さは30mになります。
- (注15) 内蔵ポンプは、インデント対応により必要とされる機外揚程に応じて出力を変更することができます。その際の電源設計は、標準ポンプの場合とは 異なります
- (注16) 漏電遮断器は必ず設置してください。本機はインバータ装置を有しています ので、誤動作防止のために高調波対応品を使用してください。
- (注17) 変圧器や発電機を選定する際には、インバータによる高調波電流の発生に 伴なう損失を考慮した容量を選定する必要があります。高調波電流の発生に 伴なう損失を考慮した必要な容量については、変圧器や発電機のメーカへ ご確認ください。

電源トランスを他の機器と併用する場合は、高調波ガイドラインに示される各機器の換算係数Ki値によってキュービクル容量を 算出して選定してください。

電源容量は製品のみの必要最小容量を示しております。